

プレスリリース

No. BZ221017-01
2022年10月17日
株式会社リンク

**6年連続 国内シェア1位の「BIZTEL（ビズテル）」
松本若菜さんを起用した新CMが10月17日（月）より公開
松本さんがオペレーターに変身！？地元鳥取の“米子弁”を初披露！**

6年連続国内シェア第1位(※1)のクラウド型コールセンターシステム「BIZTEL（ビズテル）」を展開する株式会社リンク（本社：東京都港区、代表取締役社長：岡田 元治）は、松本若菜さんを起用した新CM 2本「変身篇」「発音篇」を、2022年10月17日（月）よりタクシーCM・WEB CMにて放映開始します。

※1 デロイト トーマツ ミック経済研究所『マーテック市場の現状と展望 2022年度版 クラウド型CRM市場編（第6版）』による



本CMでは、BIZTELを使って在宅勤務を行うビジネスパーソンを松本若菜さんが演じています。電話をクラウド化することで、インターネットとPCがあれば場所を問わずどこからでもビジネス電話の受発信が可能になることから、コールセンターの在宅化や、オフィス勤務と在宅勤務を組み合わせる新しい働き方「ハイブリッドワーク」が実現することを表現しています。

■「変身篇」ストーリー

松本さん扮する女性が在宅勤務中に祖母と会話するシーンから始まります。米子弁（※2）での会話の途中、女性のパソコンから「BIZTEL」の着信音が鳴ります。すると、ラフな格好をしていたはずの女性が突然、きっちりとしたオフィススタイルに変身し、標準語を用いてオペレーター業務を開始します。通話を終え、元の姿に戻り一息つく女性。突然の変化に驚きを隠せない祖母にやさしい微笑みを返します。

※2 松本さんの出身地である鳥取県米子市を中心とするエリアで使われる方言



■「発音篇」ストーリー

祖母は「BIZTEL（ビズテル）」の発音がちょっと変。松本さん扮する女性が正しい発音を教えます。ところが、祖母はふざけていただけで、本当は正しく発音できることが判明。呆れる女性と自信満々の祖母の、微笑ましい姿が最後を締めくくります。



■新 CM 概要

- CM タイトル : 「変身篇」 (30 秒) ・ 「発音篇」 (30 秒)
- 出演者 : 松本若菜 ・ ふくまつみ
- 放映開始日 : 10 月 17 日 (月)
- 放映媒体 : タクシーCM/WEB CM ほか
- 映像 URL : 「変身篇」 <https://youtu.be/ClA6WIqIEcI>
「発音篇」 <https://youtu.be/mhXurSRx0dY>
メイキングムービー <https://youtu.be/5D6g3dP1hcU>

■松本若菜さん 撮影後インタビュー



Q. 今回の CM の見どころを教えてください。

松本：米子弁でセリフを言うシーンがあるのですが、カメラの前で米子弁を話すのはおそらくこれが初めてじゃないかと思います。今でもつい米子弁のイントネーションが出てしまうことがあって、普段の撮影ではそれを直さないといけないのですが、今回は方言のイントネーションをあえて出す必要があり、逆に難しかったですね。普段は自然に出てくるものなのですが、セリフを言いながら、「あれ、米子弁ってこんな感じだったっけ？」と分からなくなったりして……。不思議な気分でした。

Q. 今回の CM では自宅で仕事をするオペレーターを演じました。BIZTEL を使えば、自宅にいな
がらコールセンターの業務ができることをどう思いましたか？

松本：それこそ地方にいながらでも仕事ができるということでもんね。本当に画期的です！インターネット環境さえ整ってれば、どこでもオペレーターさんの仕事ができるというのは、まさに今の時代にぴったりだと思います。

Q. もしコールセンターのオペレーターになるとしたら、どんなオペレーターになりたいですか？

松本：みなさん困っていることがあって電話をかけてくると思うので、この新商品はこういうふうに使ってくださいなど、親身になってお客さまの悩みを解決してあげたいですね。

Q. 在宅勤務とオフィス勤務を組み合わせる「ハイブリッドワーク」が浸透してきています。松本さんはハイブリッドワークについてどんなイメージを持っていますか？

松本：実はすごくインドア派なので、BIZTELの仕組みを教えてもらったときに、私にぴったり！と思いました。私も芸能界以外での社会人経験があるのですが、職場に行くと忙しくて、休憩時間と業務時間の境目が曖昧になり、ずっと働いている状態のことがありますよね。ハイブリッドワークなら自分の時間と業務の時間のプランを自分で決められるので、メリハリが出ていいな、と思いました。お子さんがいる方も便利でしょうし、雨の日などちょっと外に出るのが大変だなというときに、お家で仕事をしながら会社の電話が受けられるというのはとてもいいですね。

Q. 最後に、これからBIZTELの新CMをご覧になる方にメッセージをお願いします。

松本：ご覧いただくと分かる通り、おばあちゃんと孫の触れ合いがとてもホッコリとする、誰もが身近に感じられるCMになっていると思います。BIZTELは新しいビジネススタイルになくはないサービスだと思うので、ぜひ皆さんにご覧いただいて、在宅勤務やハイブリッドワークを考えている周りの方にBIZTELを紹介していただけたら嬉しいです。

■出演者プロフィール

松本若菜（まつもとわか）さん



1984年2月25日生まれ。
鳥取県米子市出身。

2007年、俳優デビュー。2009年、映画「腐女子彼女。」で初主演。2017年には映画「愚行録」で第39回ヨコハマ映画祭助演女優賞を受賞する。2022年には「復讐の未亡人」（テレビ東京系）で連続TVドラマ初主演を果たす。

主な出演作に【映画】「マリッジカウンセラー」（2022）、「君が落とした青空」（2022）、「コーヒーが冷めないうちに」（2018） / 【ドラマ】「ファーストペンギン！」（2022/日本テレビ系）、「やんごとなき一族」（2022/フジテレビ系）、「金魚妻」（2022/Netflix）、NHK大河ドラマ「麒麟がくる」（2020）などがある。

■CM制作スタッフリスト

【エージェンシー】

アカウントエグゼクティブ/プランナー

乗鞍 大樹（イニシャル）

【プロダクション】

プロデューサー

桑田 尚紀（VECKS）

プロダクション マネージャー

中垣 崇綱（VECKS）

プロダクション アシスタント

高村 鴻太（VECKS）

【スタッフ】

ディレクター

西村 広揮

カメラマン

吉田 剛毅

照明デザイナー

齋藤 茂

アートデザイナー

立松 春奈

レコーディング

大熊 英稔

スタイリスト（メインキャスト）

番場 直美

スタイリスト（サブキャスト）

山岸 ひかり

ヘアメイクアップアーティスト（メインキャスト）

つばきち

ヘアメイクアップアーティスト（サブキャスト）

小野 紗友美

スチールカメラマン

七島 アキラ

モーショングラフィックス

松永 芳朗（スタジオロッカ）

オフライン編集

ダダビ

ポストプロダクション

IMAGICA

メイキングディレクター

軽部 瞬

■BIZTEL（ビズテル）について

BIZTELは2006年のサービス提供開始以来、クラウド型テレフォニーサービスのパイオニアとして企業向け電話システムやコールセンターシステムを幅広く展開しています。2021年には、2,000社超の導入企業数、41,000席超の稼働席数を達成し、デロイト トーマツ ミック経済研究所より発行された『マーテック市場の現状と展望 2022年度版 クラウド型CRM 市場編（第6版）』において、クラウド型コールセンターシステム **6年連続シェア第1位**のサービスとしてリストアップされました。また、富士キメラ総研より発刊された『ソフトウェアビジネス新市場 2022年版』においても、SaaSのCTI（電話とコンピューターの統合システム）の国内シェア第1位を達成しています（2021年度実績、金額ベース）。サービスの詳細は、<https://biztel.jp/>をご覧ください。

■株式会社リンクについて

株式会社リンクは、業界最大級の稼働台数を持つ専用ホスティング「at+link」、クラウド型ホスティング「リンク・ベアメタルクラウド」を軸として、6年連続シェア第1位のクラウド型コールセンターシステム「BIZTEL」、セキュリティプラットフォームサービス「PCI DSS Ready Cloud」など、さまざまなサブスクリプション型サービスを提供しています。農系事業にも取り組んでおり、2011年10月からは岩手県岩泉町にある自然放牧酪農場「なかほら牧場」を運営しています。事業の詳細は、<https://www.link.co.jp/> をご覧ください。

★リンクが運営するメディアサイト

「最適なサービスで一步先行く組織へ」

ビジネスに伴走する課題解決メディア『LINK Watch!』

<https://watch.link.co.jp/>